

平成29年12月18日発行

## あしあと

(このコーナーは4回にわたってリレー形式で掲載して  
きましたが最終回となりました)

### ～ E-JANの歴史④ 2012(平成24)年～現在まで ～

E-JAN 事務局長 加藤 寛盛



2007(平成19)年の発会10周年以降、2011(平成23)年までに次々に事業を開始して職員を配置するようになりました。前号でも触れた法律の整備により、地域では様々な事業やサービスが展開され始め、やがてE-JANは、発会当初から続けてきた地域活動は「じゃんだらにい」や「たけのこくらぶ」の活動に集約していき、事業全体は、精神障害の周辺に見え隠れする様々な社会的課題(ひきこもり、不登校、無業、自殺、など)に

対応していくという役割を担うNPOへと変化を始めていました。そして2012(平成24)年には浜松市自殺対策地域連携プロジェクトを受託し、司法書士を中心に法律の専門家を始め、多職種と協働した自殺対策に取り組み始めました。

事業が劇的に拡大していく状況の中、2012(平成24)年11月には、大家さんのご厚意で、1階に相談室と事務室、2階は多目的室の2階建てのクラブハウスを建替えていただけということがありました。この頃から、より社会的信用の向上と活動基盤の整備を目指し、認定NPO法人格の取得を目指すことになりました。その後、2014(平成26)年4月には、ひきこもりサポートセンターこだま、サポステはままつは行政機関の集中する中区中央に移転しました。

そしてここから、これまでの活動の集大成となるような出来事が次々に起こります。同年11月には内閣府「子どもと家族・若者応援団表彰」にて内閣府特命担当大臣表彰を受け、総理官邸での表彰式に招待されるという一生モノの体験がありました。それを受け、2015(平成27)年3月には受賞記念としてホテルコンコルドにて「感謝のつどい大交流会」を実施しました。

その後、同年12月には日本精神障害者リハビリテーション学会からベストプラクティス賞を受賞し、ただただ目の前に起こっている課題に対して、仲間で、地域で取り組んできた活動が全国的にも高く評価されるということが次々に起こり、改めてE-JANの活動の価値を見直す機会となりました。

ただ…、もうこれ以上のことは起こらないだろうと思っていたところ、それだけでは終わらず、2016(平成28)年には、「浜松市史 五」にて、E-JANが取り上げられるということが起きました。浜松市の歴史の一部となった瞬間でした。そして、2017(平成29)年3月には、市内で5番目の認定NPO法人格を取得しました。

振り返ってみると、最初の5年は発会からNPOへの移行、次の5年は若手の台頭から10周年、そこから職員の配置、事業の拡大、ここ最近の5年はそれらの活動の集大成と、5年一区切りで様々なことが展開しています。

今年度で20年を迎えたE-JANです。次の5年、10年に向けて、地域の様々な課題に対し、皆さまと一緒に悩み、考え、E-JANらしい活動を続けていきたいと思っています。引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。





E-JAN 発会 20 周年事業

# 「この地ニ生キル幸セヲ〜 鈴木重子&こころのコンサート」



日 時 2018 年 2 月 4 日(日)  
 開演 13 時 (開場 12 時 30 分)  
 場 所 浜松市福祉交流センター ホール(全席自由)  
 料 金 一 般 前売:3,000 円 当日 3,500 円  
 障害者 前売:1,500 円 当日 2,000 円(障害者手帳持参)

E-JAN は今年度で発会 20 年を迎えました。

これを記念して、今回は浜松市出身のボーカリストの鈴木重子さんをお招きし、第一部はコンサート、第二部はトークを行います。音楽や語りを通して心を通わせ、ふれあい、心温まる時間にできればと思います。

障害者手帳をお持ちの方の前売料金は半額となります。

日頃、E-JAN の活動にご理解、ご協力をいただいている皆さまへの感謝の機会となるとともに、お近くの方をお誘いいただき、E-JAN のことに触れていただくような場になれば、なお一層うれしい限りです。是非、ご参加ください。

## たけのこくらぶ報告

「たけのこくらぶ」は、E-JAN 会員の有志でつくっているボランティアグループです。

### ☆ お楽しみサロン(手芸) 9月3日(日) 13:00~15:00 クラブハウス

9 月 3 日(日)、プラ版作りに参加しました。参加者 9 名で初めてやる人が多かったです。

モチーフとなる絵を選んで、プラスチックの板に輪郭を描き、自由に画材を塗ってカットする。ストラップを取り付けるためにパンチで穴を開けてから、オーブントースターで焼く。ちぢみが落ち着いたら取り出す。素早く本などに挟み平らにする。焼くと 1/4~1/6 に縮む。ストラップを取り付け完成。

私は、ディズニーキャラクターのくまのプーさんを、4 個色々なパターンで作って、みなさんに面白いと褒められました。ペーパーやすりでこすって色鉛筆を塗って、ほんのりしたパステルカラーのいい色が出たり、頑張って描いて色を塗ったのに、ちぢみで歪んだまま固まって残念な形になってしまったり。

個性溢れるかわいい作品がいっぱい出来上がりました。

みなさん、数をこなしていくうちに、段々とコツをつかんでいき、とっても楽しくワイワイ言いながら作っていました。



プラ版のバリエーションは無限大。手作りする喜びは大きいです。今回の体験を活かしてまた一味違ったものを作りたいと思います。是非またお楽しみサロンでやる機会を作ってください。(Y.S)

☆ 交流会(茶話会) 10月15日(日) 14:30~15:30 クラブハウス



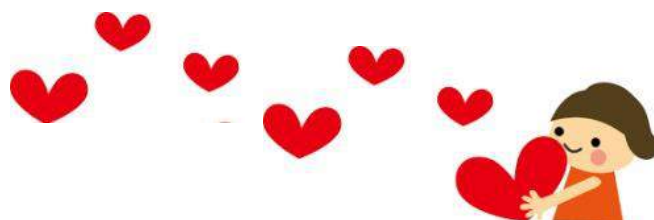
今年度第2回目の交流会ほっこり茶話会が、10月15日日曜日に E-JAN 事務局の2階で行われました。参加者は、10名と少な目でしたが、内容はとても濃かったです。

10名のうち、当事者の方が6名、当事者の家族がわたしも入れて2名。精神疾患をかかえている当事者の方々が活発に意見をされていて、それにみなさんが共感したり、質問したりしているのが印象的でした。

北海道の浦川町の「べてるの家」というところでやっている当事者研究の見学をしてきた方の参加があり、みなさん興味があるようで、熱心に聞いていました。その中でも写真の「苦勞を希望にかえる当事者研究ノート」はとても役に立つようです。こちらのノートは、現在(11月20日現在)第3版製作中とのことです。

今回のほっこり茶話会は特にテーマを決めないで、話したいことを話し、聞きたいことがあれば聞いたり、ゆるゆるした雰囲気ですすめられました。来年度も引き続きほっこり茶話会を企画していきたいと思います。

(高橋久美子)



☆ 浜北ふれあい広場 11月12日(日) 10:00~14:00 グリーンアリーナ

今年の浜北ふれあい広場は、晴天に恵まれ、多くの方々が浜北グリーンアリーナに集っていました。私は3月まで浜北区内の障害福祉の事業所で働いていました。浜北ふれあい広場のことを知ったのは、そのようなご縁からでした。

いつも感じるのは浜北地域の皆さんの強いネットワーク！  
熱い思い！

あれから早9年、今では、E-JANも浜北地域の方々に名前を覚えていただいたのではないかと思います。

実は、私自身は、ここ何年かは仕事に絡む団体の参加に関わってきたため、E-JANのブースに顔を出すことはあっても、一日活動したのは、久しぶりでした。なので、初心に戻った感じ！会場で、以前お世話になった方々と顔を合わせることが多々あり、「今日は何で出てるの？今何しているの？」と声をかけていただいて、E-JAN たけのこらぶのエプロンを見せてPRできたのが何よりでした。



お店の手作りの品をみて声をかけてくださったり。そんな交流も楽しいひと時でした。

障がいの理解・啓発のために多くの地域の方達が集う浜北ふれあい広場での参加を通じて、E-JAN たけのこらぶでの小さな点のつながりが、少しずつでも地域に広がっていけること、そんな「つながる活動」をしていけたらと感じた一日でした。(鈴木康世)



## 障害者相談の窓口 ～ 市民後見人について ～



前回でも「市民後見人」について述べましたが、先日の静岡新聞で、富士市で県下初の市民後見人が誕生したと報道されました。内容を見ますと、どうやら社会福祉協議会が養成した市民後見人第一号ということのようで、純粋に静岡県初の市民後見人ということではないようでした。事実、浜松で数年前から市民後見人として活躍されている方がいらっしゃいます。

しかし、後見人の引き受け手が今後ますます不足していくであろう状況は変わりません。

後見人といっても一人で全責任を負うのではなく、財産管理、法律関係については専門職が行い、市民後見人はご本人が安心して生活できるように身の周り等の配慮をする役目を主に担当するといった複数後見の形をとることがほとんどのようです。

さて、私は市民後見人の養成と制度の啓発を行っている NPO 法人の会員でもあります。先月「市民後見人養成講座」の中の「知的障害者理解」の講師を務めました。人に教えるためには、そのことに関して、より理解を深めなければいけないことを改めて感じました。これまでの不確かな知識を再確認する良い契機になったことに感謝しております。

2年前は受講生であった私が、今は後見人を受任して何とかやっております。皆様も、ぜひ市民後見人にチャレンジしていただければと思います。(ふらたなす・神谷)

※市民後見人…弁護士や司法書士などの資格はもたないものの社会貢献への意欲や倫理観が高い一般市民の中から、成年後見に関する一定の知識、態度を身に付けた良質の第三者後見人等の候補者(日本成年後見学会)



### 職場体験レポート

地域若者サポートステーションはままつでは、今年度から新たに職場体験・就職支援事業が開始されました。実際に職場を見学したり、体験をすることで、就労への一步を踏み出す大きなチャンスとして8月から本格的に動き始めました！

10月末までに体験させていただいた職種としては、清掃業、サービス業、農業など、多くの事業所さんのご協力により職場体験を実施することができました。今後も実際の仕事を体験させていただける事業所を募集しています。ぜひ、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



**体験を終えた利用者さんの声** \*原文のまま  
この職場体験を通して、仕事をするに対する自信が少し持て、自分が成長したと感じました。

\*ご質問等、お問い合わせは  
サポステはままつまでご連絡ください。  
☎ 053-453-8743



10月、地域若者サポートステーションはままつと、ひきこもりサポートセンターこだまが協力して、『いのちをつなぐ手紙』の入力作業体験をしました。

『いのちをつなぐ手紙』は精神保健福祉センターが行っている手紙による相談事業で、各区役所や市内のショッピングセンター等に便箋と封筒が置いてあり、いのちや自死に関する辛い気持ちを手紙で相談することができます。また、苦しい思いをしている人に向けたメッセージを送ることもできます。

今回は、小学生が書いてくれたメッセージをパソコン入力して冊子にする作業のお手伝いということで、事前にスタッフが講師となって『覚えておくと便利なショートカットキー』などを交えたパソコンセミナーを実施。

作業は週4～5日、1日3～4時間という少しハードなスケジュールにも関わらず、みんな頑張り、サポステ5人・こだま5人で計425件を完了しました。

参加者は、「5日間休まず参加できたこと、集中力を切らさず作業できたことが、自信になりました。」と感想を述べてくれました。

今後、『いのちをつなぐ手紙』のイベントも、3月の自殺対策強化月間に行われます。

辛いとき、困ったときに一人ではないこと、安心安全に話せる場所があること…。

困った時に相談ができる団体として、E-JANもパネル展示で毎年参加しています。今回入力した小学生のメッセージやポスターを見ることもできるほか、楽しいイベントもあります。



平成30年3月4日(日) プレ葉ウォーク浜北 に、ぜひ行ってみてください。

## 職員紹介



今年度の新任職員を紹介します。  
地域若者サポートステーションはままつ  
ステップアップ支援員 渥美 哲夫(あつみ てつお)



趣味:ゴルフ(友達を失わない程度のスコア)、囲碁、歴史  
好きなもの:ドラえもん、自然(若いときには山登りやキャンプ)

ハローワークでの経験を活かして就職支援が出来ればと考えています。



1月	11日(木)	イエローレシートキャンペーンの日	終日	イオン浜松市野店 マックスバリュ浜松助信店
2月	4日(日)	E-JAN 発会 20周年事業 「鈴木重子&こころのコンサート」	開場 12:30 開演 13:00	浜松市福祉交流センター
	11日(日)	イエローレシートキャンペーンの日	終日	イオン浜松市野店 マックスバリュ浜松助信店
	18日(日)	お楽しみサロン(内容未定)		
3月	4日(日)	「いのちをつなぐ手紙」イベント	終日	プレ葉ウォーク浜北
	11日(日)	勉強会(E-JAN 大場代表講話)	13:30～15:30	クラブハウス

☆ 行事の詳細については事務局までお問い合わせください。



事務局より



### 同封チラシについて

- |  |   |                   |
|--|---|-------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>① E-JAN 発会 20周年事業「鈴木重子&amp;こころのコンサート」</li> <li>② らしく浜松</li> <li>③ スタ☆タン!!2 (団体会員 主催事業)</li> </ul> | } | 3部を同封しました。ご覧ください。 |
|--|---|-------------------|

### 寄付を受け付けています

寄付はボランティアの一つです。

会員であってもなくても、E-JANにご寄付くださった方は税制上の優遇措置が受けられます。

振込用紙(振込手数料無料)をお送りいたしますのでご連絡ください。

みなさまの温かいご寄付をお待ちしております。

#### ～編集後記～

- ・朝夕の冷たい風、舞い散る枯葉で本格的な冬の訪れを感じ始めていましたら、あっという間に今年も残りわずかになってしまいました。寒さがこたえる日は、E-JAN通信で心から温まってください。今年もお世話になりました。どうぞよいお年をお迎えください。(山)
- ・クリスマスリースを手作りしようと思い、松ぼっくり探しへ。中田島砂丘の方ならあるかもしれないとの有力情報をいただき、早速出かけました。形がキレイで大きさがあるものって少ないなと感じながらも、拾い出したら止まらず袋いっぱいになりました(笑)久しぶりの手作りリースが楽しみです。(大畑)
- ・11月の終わりに、こだまとサポステで協力して業務用エアコンのフィルター掃除をしました。結構な汚れ具合で、一足早い大掃除となりましたが、事務所が温まるようになりました。みなさまも温かい新年をお迎えください。(杉浦)
- ・E-JANの関わりは10周年の事業からでした。今回20周年のチラシが同封されていますので、10年経つのですね、自分自身の節目にもなり感慨深いものがあります。(高橋)
- ・写真を白黒印刷用にちょっと調整してみました。少し腕が上がったかな！最後の最後までお読みいただきありがとうございます(大谷)